

家中の温度差を少なく、躯体内の結露を抑える「エアサイクル層」

フランチャイズ制

壁の中を空気が動く健康・快適さの秘訣

「エアサイクルシステム」は、躯体の中に動く空気の道筋があります。壁、小屋裏、床下の内部空間を連続させて、四季を通じて清々しさをもたらします。エアサイクルの家は「健康住宅」を標榜し、商標登録もあります。



暖められた空気は上昇し、冷めた空気は下降するという原理の

パッシブ手法

エアサイクルシステム
フクビ エアサイクル® システム

部屋ごとの温度差が小さい
快適住宅

家の中に温度差があると、暖かい部屋から冷たい部屋へ移動したときに血圧が上がったり、脳卒中を起こしたり、健康な人でも風邪をひくことがあります。赤ちゃんやお年寄り、冷え性の方には、温度差は相当身体にこたえるもの。「エアサイクルシステム」は、太陽の当たる部屋や廊下の温かさを冷たい側へ、日中の温かさを夜間に利用し、温度差の少ない快適な住まいをつくれます。

ダニ・カビが発生しにくい
健康住宅

結露やカビ、ダニの発生する部屋には、埃と一緒にカビの胞子やダニの死骸、糞などが舞っており、これらを吸い込むことによってアレルギー性小児ぜんそくなどが引き起こされることがあります。「エアサイクルシステム」では、居室の換気とともに、動く空気で湿気を拡散させ躯体内結露を抑えることで、カビやダニの発生原因を軽減します。

シャルーフ

小屋裏通気

エアオープナー
小屋裏用
冬閉じる、夏開く

光熱費が抑えられる
省エネ住宅

「エアサイクルシステム」は太陽熱や風など自然の恵みを利用して寒さ暑さを和らげるため、暖冷房の負担が少なくて済みます。ランニングコストを抑えるとともに、エネルギー消費を削減して環境保全にも貢献できるのです。

壁体内通気

木材の腐食を軽減
長寿命住宅

日本は梅雨や台風などで雨が多く、常に湿気にさらされるため、住まいを支える木材にとっては厳しい環境だといえます。木を湿気から守るには、動く空気に触れて乾燥させることが大切です。「エアサイクルシステム」では、躯体内の連通した空気層を利用して動く空気に木材に触れさせ、柱や土台を乾燥したまま保つことができ、住まいを長寿命にします。

床下の適温空気

エアオープナー
床下用
夏開く

プラキソ
コラムベース
天端25

冬閉じる